



にいぬま りょうじ
新沼 良治さん(69)
【大船渡市立根町】
【経営規模】
ピーマン4a、ズッキーニ3a

JAおおふなと

農業のこと
教員を定年退職後、就農しました。農業は生徒と同じで手を掛ければ掛けた分だけ応えてくれるのが魅力です。なんだか試されているように感じて、それも面白いです。土づくりには特にこだわり、土壌医検定3級を取得しました。人が口にするものなので、品質の良いものを作りたいです。そして、孫のためにいつか甘いピーマンを作りたいです。

スポーツのこと
小学3年生のときに、叔父の影響で野球を始めました。今は、市外で仕事をしている息子が帰ってきたときにキャッチボールをしたりしています。野球は備えと読みが必要で、とても奥が深いスポーツです。1球で試合が“ガラッ”と変わるので、そこが怖さでもあります。面白さでもあります。監督も経験してきたので地域の子どもたちに野球の基本的なことを教えていきたいです。



ちば ゆうき
千葉 祐樹さん(34)
【奥州市前沢】
【経営規模】
リンゴ1.5ha、水稲70a、
肥育牛2頭



JA岩手ふるさと

農業のこと
北上川流域の肥沃な大地で、リンゴ栽培・肥育牛・稲作など循環型農業を実践し、栽培・肥育管理は主に父が担当しています。リンゴの出荷最盛期になると、家族全員で収穫作業をします。今後は、リンゴ栽培や畜産が盛んな地域なので、代々続いている農地を守っていきたいです。

スポーツのこと
小学2年生から野球を始め、大学まで続けました。子どもが少年野球チームに入団したのをきっかけに、現在は監督として野球に携わっています。野球がうまくなることも大切ですが、仲間との友情や絆も深めてほしいと思っています。今後は野球を通じて子どもの成長を見守りながら、県大会で上位入賞を目指して頑張りたいです。

JAいわて平泉

農業のこと
いつしか「祖父の代から続くイチゴ農家をつぶしたくない」と思うようになり、34歳で就農しました。栽培した作物がそのまま消費者に届くことが農業の魅力だと思いますし、責任ある仕事だと感じています。物作りがとにかく楽しくてたまりません。自分の子どもが「イチゴを作りたい」と思ってくれるような経営ができるように努めていきたいです。

スポーツのこと
小学4年生の時に一関ラグビースクールが開校し、友達を誘ってラグビーを始めました。中学時代は野球をしていましたが、高校からラグビーを再び始め現在も続けています。6月の県民体育大会に向け、春先から仕事の合間に週1回練習します。昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、日本中が盛り上がりました。プレーも観戦も楽しめるのがラグビーの良いところです。



ささき たかひろ
佐々木 貴浩さん(37)
【一関市巖美町】
【経営規模】
水稲4ha、イチゴ5a、ピーマン5a

JA江刺

農業のこと
米農家に生まれ育ちました。現在は奥州市江刺のスポーツ用品店に勤務しながら、農繁期には農作業を手伝っています。米作りの一端ではありますが、自分が手伝い、育てたお米の味は格別です。江刺のお米は香りが高く、炊き立ての香りが抜群です。バレーボールで全国各地を回ることもありますが、故郷のお米のおいしさを誇りに思っています。将来的には米作りの1年の流れや、農機の操作など父から学んでいきたいです。

スポーツのこと
中学からバレーボールを始め、現在は社会人チーム「OSHU LEGENDS」でプレーしているほか、奥州江刺JVC（ジュニアバレーボールクラブ）でコーチをしています。チームスポーツは、人との関わりや、コミュニケーション能力が欠かせません。自分がプレーするのはもちろん、応援することも好きで、教え子たちの試合を見に行くのも楽しみです。今年は山形県でクラブカップバレーの全国大会が開催されるので、出場目指して頑張ります！

おいかわ たける
及川 健さん(30)
【奥州市江刺稲瀬】
【経営規模】
水稲10ha

